ディプロマポリシー

専攻科では、自立の精神と創造性に富み、広い視野と豊かな心を備えて、社会に貢献でき、先端技術及び高度情報化に対応し、国際的に活躍できる実践的・創造的研究開発能力を持った技術者を育成します。 そのために、各専攻に関連する専門知識及び実践技術を身につけ、所定の単位を修得した学生に修了を認定します。

機械・電気システム工学専攻

機械・電気システム工学専攻では、機械工学、電気電子工学、制御情報工学の各コースに関連する専門 知識及び実践技術を修得した学生の修了を認定します。

- 1. 技術者としての広い視野と倫理観を身につけ、それらに従って行動できる。
- 2. 数学、物理、情報処理に関連する基礎知識を身につけ、応用できる。
- 3. 各コースに関連する専門知識を習得し、職業上応用できる。
- 4. 工学基礎、ならびに機械工学の専門知識、電気電子工学の専門知識、制御情報工学の専門知識などを活用し、社会の要求する課題を解決できる。
- 5. 専門分野に関連するプレゼンテーション能力と国際化に対応できる基礎的なコミュニケーション能力が 備わっている。

物質工学専攻

物質工学専攻では、生物応用化学、材料工学の各コースに関連する専門知識及び実践技術を修得した 学生の修了を認定します。

- 1. 技術者としての広い視野と倫理観を身につけそれらに従った行動できる。
- 2. 数学、物理、化学、情報処理に関連する基礎知識と応用力を身につけ、応用できる。
- 3. 各コースに関連する専門知識を習得し、職業上応用できる。
- 4. 工学基礎、ならびに生物応用化学の専門知識、材料工学の専門知識などを活用し、社会の要求する課題を解決できる。
- 5. 専門分野に関連するプレゼンテーション能力と国際化に対応できる基礎的なコミュニケーション能力が 備わっている。

カリキュラムポリシー

ディプロマポリシーに掲げた能力を育成するため、一般科目及び専門基礎科目において工学に関連する 基礎学力、語学力、社会的責任への理解力を養うともに、各専攻では、それぞれの分野に関連する実践 的能力を養うための専門科目を配置しています。専攻科では、先端技術及び高度情報化に対応し、国際的 に活躍できる実践的、創造的研究開発能力を持った技術者を育成するために、専攻ごとに必要な科目を 体系的に配置した教育課程を編成します。

機械・電気システム工学専攻

- 1. 技術者としての広い視野と倫理観を修得できるように
 - (1) 豊かな教養や国際性を涵養する科目を設け、講義を主とした学修方法により教授します。
 - (2) 創造的研究開発能力を身につけるための科目を設け、実験を主とした学修方法により教授します。
- 2. 数学、物理、情報処理に関連する基礎知識と応用力を修得できるように
 - (1) 高度な理数系科目及び自然科学系科目を設け、講義を主とした学修方法により教授します。
 - (2) 高度情報化に対応するため、情報処理の専門科目を設け、講義や演習を主とした学修方法により教授します。
- 3. 各コースに関連する専門知識の習得と職業上応用できる基礎能力を身につけることができるように
 - (1)機械分野、電気電子分野、制御情報分野の専門科目を設け、講義を主とした学修方法により教授します。
 - (2) 先端技術の知識を習得するための科目を設け、オムニバス形式の講義を主とした学修方法により教授します。
- 4. 工学基礎、ならびに機械工学の専門知識、電気電子工学の専門知識、制御情報工学の専門知識などを活用し、社会の要求に対応できる問題解決能力を修得できるように
 - (1) 専攻科研究の科目を設け、論理的説明力及びプレゼンテーション能力を育成する観点から、学生と指導教員の双方向性を重視した総合的な学修を展開します。
 - (2) 創造的研究開発能力を身につけるための科目を設け、実験を主とした学修方法により教授します。
- 5. 専門分野に関連するプレゼンテーション能力と国際化に対応できる基礎的なコミュニケーション能力を習得できるように
 - (1) 専攻科研究の科目を設け、論理的説明力及びプレゼンテーション能力を育成する観点から、学生と指導教員の双方向性を重視した総合的な学修を展開します。
- (2) 豊かな教養や国際性を涵養する科目を設け、講義や演習を主とした学修方法により教授します。

物質工学専攻

- 1. 技術者としての広い視野と倫理観を修得できるように
 - (1) 豊かな教養や国際性を涵養する科目を設け、講義を主とした学修方法により教授します。
 - (2) 創造的研究開発能力を身につけるための科目を設け、実験を主とした学修方法により教授します。
- 2. 数学、物理、化学、情報処理に関連する基礎知識と応用力を修得できるように
 - (1) 高度な理数系科目及び自然科学系科目を設け、講義を主とした学修方法により教授します。

- (2) 高度情報化に対応するため、情報処理の専門科目を設け、講義や演習を主とした学修方法により教授します。
- 3. 各専門コースに関連する応用知識の習得と職業上応用できる基礎能力を修得できるように
 - (1) 生物応用化学分野、材料工学分野の専門科目を設け、講義を主とした学修方法により教授します。
 - (2) 先端技術の知識を習得するための科目を設け、オムニバス形式の講義を主とした学修方法により教授します。
- 4. 工学基礎、各専門分野の基礎と専門知識などを活用し、社会の要求を解決するための企画力を修得できるように
 - (1) 専攻科研究の科目を設け、論理的説明力及びプレゼンテーション能力を育成する観点から、学生と指導教員の双方向性を重視した総合的な学修を展開します。
 - (2) 創造的研究開発能力を身につけるための科目を設け、実験を主とした学修方法により教授します。
- 5. 専門技術に関連するプレゼンテーションと国際化に対応できる基礎的なコミュニケーションをする能力を習得できるように
 - (1) 専攻科研究の科目を設け、論理的説明力及びプレゼンテーション能力を育成する観点から、学生と指導教員の双方向性を重視した総合的な学修を展開します。
 - (2) 豊かな教養や国際性を涵養する科目を設け、講義や演習を主とした学修方法により教授します。

成績の評価および単位認定基準

以上の教育課程において、到達目標に対する到達度を

- (1) 講義科目においては、定期試験・演習・レポートなど
- (2) 専攻科研究論文・専攻科研究基礎においては、研究論文・報告書、研究発表、課題への取り組み状況など
- (3) その他の科目においては、課題への取り組み状況、レポート、発表など

により各科目のシラバスに記載されている方法で評価します。

成績は 100 点法によるものとし、60 点以上を合格として単位を認定します。成績評価の評語は次の基準による ものとします。

評価点数

- S 90点以上
- A 89点以下80点以上
- B 79点以下70点以上
- C 69点以下60点以上
- D 59点以下

入学者受入れの方針(アドミッションポリシー)

「求める学生像」

- (1) 科学技術に対する強い探究心を持ち、積極的に取り組む人
- (2) 専門分野の基礎を修得している人
- (3) 社会性と倫理観を身につけている人
- (4) 基礎的なコミュニケーション能力を身につけている人

「入学者選抜の基本方針」

入学者の選抜は、推薦による選抜、学力検査による選抜及び企業等の推薦による社会人選抜により行う。

◇推薦による選抜

調査書、推薦書、志願調書、TOEIC スコア及び面接の評価を総合して行う。

◇学力検査による選抜

調査書、TOEIC スコア及び学力検査(専門及び数学)の成績を総合して行う。

◇企業等の推薦による社会人選抜

成績証明書、推薦書、TOEIC スコア及び面接の評価を総合して行う。